

国の平成20年度の経済見通しでは、世界経済の回復が続く政府と日本銀行の一体となった取り組みなどにより物価安定のもとで穏やかな成長が見込まれております。

しかしながら一方では、本格的な人口減少社会の到来、少子高齢化による社会保障費の増大や、内外における経済構造的な変化など難しい課題に直面しており、地域格差など新たな課題も生じております。

このようなか中で編成された平成20年度吉川市一般会計予算は総額145億1千万円、前年度比4・3%の減となっており、前年度に続き厳しい予算編成となっておりますが、「第2次よしかわ行財政改革大綱」や「よしかわ行財政改革プラン」により、創意工夫されたものと評価するところであります。

その少ない予算のなかでも、北谷小学校の耐震補強・大規模改修工事設計委託料と南中学校の耐震診断の業務委託料を計上し、将来を担う子どもたちが安心して、いきいき生活できる環境づくりが進められるものであります。福祉関係では、さつき園に替わる新たな施設、地域活動センターの用地購入費や、第3期吉川市老人福祉計画・介護

保険事業計画の策定委託料が予算化されております。その他防犯パトロールの拠点施設を作るなど各部門とも市民の生活安全と将来の吉川市のために選択されたものであります。今後とも「選択と集中」を基準に市民のための行政をお願いし、賛成といたします。

賛成討論

公明党吉川市議員
五 金次郎

平成20年度一般会計当初予算は、145億1千万円で、前年度比4・3%減となりました。財源確保が厳しい中、歳入に見合った歳出構造の転換を図った予算編成とうかがえます。

- 注目し評価すべき点として、
- ① 保第二公園内に防犯活動拠点を整備し広域に防犯パトロールを実施する団体に青色回転灯装着車の貸与を実施することは、市民の防犯意識の高揚と犯罪の抑制に結びつくと考えます。
 - ② 「ふれあいデイサービス」を拡大し児童館ワンダーランドで実施することは、介護予防、健康保持、生きがい対策に資する事業と認識しています。
 - ③ 妊娠中の母親や胎児の健康を守るため、妊婦無料健診を2回

から5回へ拡大し、乳幼児健康診査や家庭訪問などの相談や指導の充実を図ることは、子育て支援のさらなる充実と期待します。

④ 新たに環境団体との協働により、たばこのポイ捨て禁止や歩行喫煙マナーの啓発を推進することは、喫煙モラルの醸成が図られるものと注目しています。

⑤ 市内小中学校や学童保育室の要望に応え、各施設を巡回する「図書配送便」を始めることは、吉川市子ども読書活動推進計画の実施に向けた取り組みと評価いたします。

⑥ 利用者の利便性に配慮し温水プールの利用形態の見直しなどきめ細かい取り組みを考えます。今後は真に市民に必要な施策を選択し、財源や人材を集中する「選択と集中」を徹底し、市民の暮らしを守る「吉川市らしい」市民主役のまちづくりを切望し賛成討論といたします。

特別会計予算		水道事業会計予算	
国民健康保険	59億2383万円	収益的収入	13億8018万円
下水道事業	13億8741万円	収益的支出	13億5974万円
老人保健	6億2136万円	資本的収入	3億3254万円
農業集落排水事業	3337万円	資本的支出	11億4221万円
介護保険	20億2443万円		
後期高齢者医療	3億886万円		

第3回（6月）定例会の予定

- 2日（月）開会・議案上程
- 4日（水）議案審議
- 11日（水）議案審議（委員長報告）
- 12日（木）一般質問
- 13日（金）一般質問
- 16日（月）一般質問・閉会

議会を傍聴しませんか

皆様の選んだ議員が、吉川市を明るくすみよいまちにするため、日常生活に関わる条例や事業の予算など、大事な案件を審議し、決定しています。

ぜひ、傍聴にお出かけください。